

太陽 ASG 拝啓理事長先生

経営者のための学校情報 第 189 号

この資料は全部お読みいただいて 2 分 20 秒です。

今回のテーマ： 学校法人における財務分析

1 財務分析の必要性

学校法人は、その設置する学校に必要な施設および設備、またはこれらに必要となる資金ならびに学校の経営に必要な財産を保有しなければなりません（私立学校法第 25 条）。一方、少子化の影響による学生生徒数の減少、人件費支出の増加など学校法人をめぐる経営環境は厳しさを増しており、収支のバランスも重要な課題になっています。このような環境下において、学校法人の健全な発展を図り持続的な教育研究活動を継続するためには、財務分析を実施して経営状況と財産の状況を把握し、将来に必要な施策を検討することが不可欠となってきました。

2 財務分析の手法

財務分析は、原則として比較によって行います。その中には、各収支項目を比較し、バランスを見ることが含まれます。

過去の実績との比較

過年度の計算書類と比較して、経営状況・財産の状況及び傾向を把握し、問題点を明確にします。

他校との比較

他校のデータや平均データと比較して、当法人の強さ、弱さを把握します。

予算と実績の比較

予算と実績を比較して、計画の達成状況を把握します。

3 中長期の視点の重要性

財務分析の結果は、学校法人の持続性、そのための長期的視野に立った施策に結びつけることが重要です。過去のトレンド分析、中長期予算との分析等によって、施設設備の購入、大規模修繕など中長期の意思決定に役立てることができると言えます。

4 計算書類による基本的な財務分析の例示

計算書類	主な財務分析の項目	着眼点
資金収支 計算書	総合的な収入・支出の構成割合。 経常活動、施設設備、財務関係の各収支 の内容・収支尻。	経常活動の収支は、収入超過の状態にあり、 経常的に発生する施設・設備の支出も賄って いるか。 異常がある場合、その原因は何か。
	資金繰りに無駄・無理がなく資金に余裕があることがポイントです。	
消費収支 計算書	帰属収入と消費支出の内容・収支尻。	消費支出が消費収入を超過していないか。超 過支出である場合、その原因は何か。
	消費支出の超過が慢性化すると、学校法人の持続性が脅かされます。	
貸借 対照表	資産・負債・純資産（基本金＋消費収支 差額）の各区分の比較。	有形固定資産合計は、基本金、消費収支差額 の合計額を超えていないか。
	財務安全性から、有形固定資産は、自己資金のみ、または自己資金＋長期借入金で賄うことが原則です。	

お見逃しなく！

財務分析では、実務の活動内容が反映されなければなりません。そのためには、財務数値のほか、人数、面積、時間等の数値を使うことや、予算・実績比較において、諸活動の進捗状況を把握することが求められます。